

令和 3 年度 11 月 第 6 回 地域連携部門研修会 報告

日時：令和 3 年 11 月 25 日（木） 19：00～19：50

場所：ZOOM にて

出席者：院内薬剤師 17 名、院外薬剤師 13 名

第 6 回地域連携部門研修会は、「無症候性低血糖」をテーマに開催致しました。高齢者における血糖コントロール目標や低血糖に関する問題、重症低血糖の要因とその患者背景、薬剤管理指導加算等、実際の症例やデモンストレーションも交えながら当院薬剤師中嶋より講義を致しました。

1、糖尿病

糖尿病患者数の状況として「糖尿病が強く疑われる人」及び「糖尿病の可能性が否定できない人」は 2016 年時点で推計 2000 万人とされています。

〈高齢者における血糖コントロール目標〉

使用薬剤や年齢、ADL、認知機能によって分けられており、上限値だけでなく下限値が設けられている場合もある。下限値は低血糖を防ぐためにも大事である。

〈高齢者の低血糖の問題点〉

- ・自律神経症状の減弱により低血糖症状の発現が遅れやすく、腎機能低下、多剤内服時、低栄養状態等により重症化かつ遷延しやすい。
 - ・転倒の原因となり、ADL の低下につながる。
 - ・認知症のリスクが高まる。
- ⇒QOL を保つためには低血糖を極力避けるべき。

〈重症低血糖の要因・患者背景〉

- ・日本糖尿病学会によれば、間違った薬の使い方を否定できない場合が約 7 割である。過去に、低血糖症状で交通事故を起こし、有罪判決を受けている事例がある。患者背景としては 70 歳以上に多く、HbA1c が 6～7% のコントロール良好の患者でも発症している場合がある。
- ⇒糖尿病薬の服薬指導を行う薬剤師の責務は大きい。

〈調剤後薬剤管理指導は 30 点/月〉

- ・糖尿病患者に新たにインスリン製剤又は SU 製剤が処方された患者に対し、薬局が調剤後も副作用の有無の確認や服薬指導等を行い、その結果を保険医療機関に文書により情報提供した場合加算が可能。
- ⇒指導を行なった際には当院 HP へ記載しております「糖尿病薬指導報告書」をご活用下さい。
また報告書の〈担当薬剤師からの提案事項〉へ記載も是非お願い致します。

2、症例報告

【入院目的】強化インスリン療法導入

【患者情報】2型糖尿病の83歳男性。随時血糖は 490mg/dl と高値。

【入院中の経過】入院中の血糖測定において朝食前の血糖値が低いことが判明し、24時間血糖測定を行うことができる Free Style リブレ を使用し血糖測定を行った。その結果、早朝(午前2~6時)の血糖値が 80mg/dl 以下 であり、無自覚性低血糖 が疑われていた。



無自覚性低血糖

低血糖時に最も早く分泌されるアドレナリンによる低血糖症状を感知できないことで、前触れなく意識障害等の症状を起こす低血糖。

無自覚性低血糖が疑われる場合は、治療として敢えて一時的に血糖値を高めによりコントロールして低血糖を感知できるようにする。

リスク因子

高齢者、低血糖を繰り返している、インスリン・SU剤を使用、βブロッカーの併用、糖尿病性神経障害

3、症例検討 (デモンストレーションとディスカッション)

【患者情報】

使用薬剤：シタグリプチン 50 mg、メホルミン 2000 mg、グラルギン(眠前 10 単位)、カルバジロール 2.5 mg

職業：タクシー運転手

低血糖症状について：低血糖になったことはない、低血糖症状は動悸であると思っている、
低血糖時のためにチョコレートを持ち歩いている

上記患者についてディスカッションし、薬剤師の先生方より様々な指摘や指導のアドバイスを頂きました。



薬局薬剤師

Y先生

βブロッカーを使用していることから、低血糖症状の動悸をマスクしていることが考えられるため、動悸以外の低血糖症状の指導をする。



薬局薬剤師

K先生

低血糖症状になったことがない患者に対して、視覚的にわかりやすい資料を使って低血糖症状の指導をする。



薬局薬剤師

E先生

タクシー運転手であることから、運転中に低血糖症状を起こした時の対処を指導する。



病院薬剤師

N先生

低血糖時の運転は絶対に行わないこと、運転中に低血糖を感じたら路肩に寄せて必ずブドウ糖を摂取するように指導する。またチョコなどの油分の多い物は血糖上昇のスピードが遅いため不適切である。

4、本日のまとめ

- 高齢者では使用している薬剤や年齢・理解度等により治療目標が異なることを把握する。
- 無自覚性低血糖は重症低血糖に繋がってしまう危険性があるため、わずかな症状でも患者が低血糖に気がつくことの出来るよう繰り返し指導することが必要。
- 低血糖について家族にも指導していくとより効果的。